



2025年5月23日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F R S
(登記社名 株式会社フォーバル・リアルストレート)
代表者名 代表取締役社長 芳賀 直樹
(コード番号 9423 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役管理本部長 早川 慎一郎
(TEL 03-6826-1502)

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、2026年3月期から2028年3月期までの3年間の中期経営計画を新たに策定し、本日の取締役会で決議いたしましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本方針

“社員・家族・顧客・株主・取引先と共に歩み社会価値創出を通してそれぞれに幸せを分配することを目指す”という経営理念の下、お客様（企業経営者と従業員）のために「働き方」と「場」の在り方の最適解を提供し経営課題の解決に貢献してまいります。

2. 数値目標

	2026年3月期計画	2027年3月期計画	2028年3月期計画
売 上 高	5,000 百万円	5,500 百万円	6,000 百万円
営 業 利 益	180 百万円	200 百万円	220 百万円
経 常 利 益	180 百万円	200 百万円	220 百万円
年間配当金	2 円 80 銭	3 円 00 銭	3 円 20 銭

3. 重点取組事項

(1) 事業成長に向けた取り組み

近年の市場環境の変化に伴い、オフィスに対するニーズは多様化しており、企業にとってオフィスの在り方は単なる執務空間にとどまらず、企業価値の最大化と密接に関わる重要な要素として位置付けられています。こうした環境下において当社は、顧客企業の多様なニーズに対応した高付加価値なオフィス環境を提供することで、顧客の成長と価値創出に貢献する取り組みを強化しております。そのため、不動産・プロジェクトマネジメント・内装設計・什器・ICTの各専門人材がチームを組み、顧客に寄り添った良質なサービスの提供を行い、企業成長の伴走型支援を進めてまいります。これらの取り組みにより、顧客企業への利益貢献を積み重ね、事業の拡大を図ってまいります。

また、既存ビルのバリューアップ需要に対応し、ビルオーナー向けのビル資産価値向上ソリューション提案に取り組み、新たな収益体制の構築を図ってまいります。

(2) マーケティング・ブランド強化

働き方や企業活動の変容に伴い、オフィスに求められる役割は一層高度化・複雑化しています。当社の提供する「オフィス仲介」「内装デザイン」「ICT環境構築」といった各サービスにおいても、単なる物件紹介に留まらず、顧客企業が抱える経営課題や将来像を踏まえた、より戦略的なワークプレイス提案力が重要となっています。このような状況を踏まえ、当社は以下の施策を重点的に推進し、

マーケティング活動とブランド価値の向上を図ることで、事業成長を加速させてまいります。

- ・オウンドメディアや SNS を活用し、最新のオフィスに関する知見を発信することで、認知度向上とエンゲージメント強化を図ります。
- ・顧客企業の課題解決事例や導入後の成功事例を公開することで、実績と信頼性を可視化し、競合との差別化を図ります。
- ・顧客ターゲット層のニーズに合致した広告施策を展開し、質の高いリード獲得を強化することで、効率的な営業活動につなげます。
- ・当社の強みである、不動産、内装、ICT の各専門チームによる総合的な提案力と、顧客に寄り添う伴走型支援という独自のブランドイメージの浸透を図ります。

これらの取り組みを通じて、当社の競争優位性をより明確にし、新たな顧客層の開拓と事業領域の拡大を目指してまいります。

（３）人材の採用・育成と評価制度の再構築

当社は、持続可能な企業成長を支えるため、社員一人ひとりの成長を促す仕組みづくりと、経営体制の整備に取り組んでおります。まず人材面では、従業員の成長が企業全体の発展に繋がるという考えのもと、成果だけでなく行動や成長過程も適正に評価する新たな人事評価制度の構築を進めています。また、事業成長を支える人材の採用強化とあわせて、育成体制の仕組みも整え、持続可能な組織づくりを目指してまいります。

（４）ガバナンス強化

当社は、持続的な企業価値の向上とステークホルダーからの信頼確保を目的として、ガバナンス体制の強化に取り組んでおります。具体的には、取締役会や監査体制の強化、社内規定や業務フローの見直しを継続的に行っております。また、コンプライアンスおよび情報セキュリティに関する社内教育を継続的に実施し、全従業員の意識向上を図る取り組みを進めております。これらの取り組みにより、透明性と健全性の高い経営体制の構築を目指してまいります。

以 上